

## 令和 5 年度老人保健健康増進等事業

BPSD の予防・軽減を目的とした認知症ケアモデルの普及促進に関する調査研究  
事業概要

## 1. 事業実施目的

認知症施策推進大綱には行動・心理症状（BPSD）の予防・適切な対応の推進が喫緊の課題として挙げられ、BPSD の予防・軽減を目的としたケアプログラムの開発、BPSD の評価の方策が課題とされているが、現在のところ、BPSD の予防・軽減の効果的な手法・評価方法は確立されていない。

令和 3 年度事業では、BPSD の予防・軽減に資するケアの方法と、その検証のあり方について検討し、令和 4 年度事業では、検討結果に基づき、①BPSD の客観的評価、②全人的アセスメント、③Plan-Do-Check-Act (PDCA) サイクルで検証を繰り返すチームアプローチ、という 3 要件に BPSD 軽減効果があることを実証した。

令和 5 年度事業では、これまでの成果をふまえ、「令和 3 年度報酬改定に関する審議会報告の指摘事項」について検討する。また BPSD 予防の阻害要因を検討するとともに、在宅の認知症の人の BPSD 軽減について上記 3 要素の応用可能性の検証を行う。

さらに、昨年度事業で DEMBASE (日本版 BPSD ケアプログラム) の臨床データを LIFE (Long-term care Information system For Evidence) に蓄積していく過程について試行した結果をふまえ、他モデルでの実装の可能性を考慮したスキームの検討を行うことを目的としている。

## 2. 事業概要

## 1) 検討委員会・作業部会の設置

理論と実践の両面を重視する観点から、認知症ケアに造詣の深い有識者、および認知症ケアの関係諸団体担当者による検討委員会を設置。委員会は 2 回開催し、「令和 3 年度報酬改定に関する審議会報告の指摘事項」の他、調査内容、結果等の検討を行う。有識者、認知症介護研究・研修センター関係者等で構成する作業部会①は 5 回開催し、昨年度までに検討した結果を全国普及するための研修体制の在り方等についての検討を行う。認知症介護指導者、関係諸団体推薦者等、認知症ケアの実践者で構成する作業部会②は 3 回開催し、BPSD 予防調査の詳細検討及び成果物の検討を行う。以上の検討の経過については、令和 5 年 9 月までに厚生労働省に対し報告を行う。

## 2) BPSD 予防の阻害要因とその対応の検討

- 全国の介護保険施設に対しアンケート調査を実施し、BPSD 予防の阻害要因及び BPSD の発生に対する施設の運営体制の影響の分析を行う。
- BPSD 予防の好事例の検討のための現地調査を実施する

## 3) 在宅の認知症の人に対する BPSD 軽減ケアモデルの検討

効果検証モデル事業：全国の在宅サービス事業所で、効果検証のモデル事業を実施し、BPSD 軽減・再発防止効果の検証とともに、QOL（生活の質）への影響の分析を行う。

## 4) LIFE 登録スキームのモデル実施

DEMBASE 臨床データの LIFE への登録スキームを整理した上で、DEMBASE のインストラクター研修・アドミニストレーター研修の過程をモデル的に展開し、当該スキームの実効性の検証を行う。併せて他モデルでの実装の可能性を考慮したスキームの検討を行う。

## 5) 報告書の作成

以上について報告書を作成し、印刷・配布する。

以上